**Ⅲ　授業実践**

**１　　小学校授業実践**

**「テーマ」**

＠＠町立＠＠小学校　第６学年

授業者　＠＠　＠＠

|  |
| --- |
|  |

**１　題材**

　　⑵イ　よりより人間関係の形成

**２　題材について**

　⑴　子どもの実態

。

　⑵　題材設定の理由

。

　⑶　各教科等との連携

学級活動⑵

イ　よりよい人間関係の形成

＠＠科

「」

科

「」

科

「」

行事

「」

**３　評価規準**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 観点 | よりよい生活や人間関係を築くための知識・技能 | 集団の一員としての話合い活動や実践活動を通した思考・判断・表現 | 主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度 |
| 評価基準 | 日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全といった、自己の生活上の課題改善に向けて取り組むことの意義を理解するとともに、そのために必要な知識や行動の仕方を身に付けている。 | 自己の生活上の課題に気づき、多様な意見を基に、自らの課題解決方法を意思決定し、実践している。 | 自己の生活をよりよくするために、他者と協働して自己の生活上の課題の解決に向けて粘り強く取り組んだり、他者を尊重してよりよい人間関係を形成しようとしたりしている。 |

**４　事前の指導**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 児童の活動 | 指導上の留意点 | 目指す児童の姿と評価方法 |
| アンケートに記入する。 | 自身の生活を適切に振り返るよう知らせる。 | アンケートを記入し、場面に応じた話し方について考えることが出来る。【思考・判断・表現】（アンケート）  日常生活の中でのすれ違いや誤解に関して、実感をもって考えている。  【思考・判断・表現】（記述） |
| アンケートの結果をまとめる。 | アンケートの結果をまとめ、学級の実態をつかむ。 |
| 国語科「なぜわかりあえなかったのだろう」  **（指導案別添）** | 情報の受け取り方には、人それぞれ違いが生まれたり、誤解が生まれたりすることがあることを理解する。 |

**５　研究内容との関わり**

　⑴　研究内容１

　　・事前アンケートから子どもの実態を把握した上で、題材の設定をしている。子どもが自分事として捉えやすいよう、模擬的な活動を取り入れ、実感を伴う学習を設定している。

・。

(2)　研究内容2

・。

・。

**６　本時の展開**

　⑴　本時のねらい（目指す子どもの姿）

　　　・。

・。

　　⑵　学習過程

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 指導  過程 | ○　主な発問や教師の指示  ・　予想される子どもの反応 | 指導上の留意点（□）評価（☆）  研究との関わり |
| 導入  つかむ  課題  さぐる | 。  ○　。  ・  **課題**    **。**  ○　う。  ・ | □。  **【①】情報技術の特性の理解**  ・  **【②】行動の選択肢の議論**  。 |
| 展開  見つける | ○。 | □。 |
| 終末  決める | **今後の自身の行動について考え、決定する。**  〇　今後の情報を発信する際はどのようなことに気を付けますか？また、普段の生活の中で伝え方について意識していくことはなんですか？ | ☆学習内容を振り返り、伝え方を前向きに考えていたか。【記述】  **【②】前向きな対処法の追求**  今後の自己の前向きな行動について意思決定している。 |

**６　事後の活動**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 児童の活動 | 指導上の留意点 | 目指す児童の姿と評価方法 |
| ・自分で立てためあてや取組について振り返る。  ・日常の中でも意識をする。 | ・世界中で見られる情報発信の向き合い方について考えるよう知らせる。  ・普段のやり取りの中でも、伝え方を意識していくことができるよう知らせる。 | ・友達の意見を参考にしながら、どのように生活に生かしていきたいかを考えて立てた具体的な目当てや実践方法に進んで取り組んでいる。（知識・技能）【観察】  ・学習発表会に関わる学習へ生かしている。【観察】 |

**７　板書計画**